

# 支え合い

新和小 コミュニティ・スクール通信 No.19 (2023.10.31)

## 第2回学校運営協議会を開催しました。パート2

令和5年度 第2回学校運営協議会を10月19日(木)に行いました。

内容が充実していたため、パート2で後半部分をお知らせします。

二つ目は、『新和小学校・家庭・地域合同一斉下校の実施計画案』についてです。

11月11日(土)の学校公開の際に行う予定でしたが、子どもたちの充実した教育活動を広く皆さんに見ていただくために実施は、来年の1月13日(土)に延期したものです。

この一斉下校は、さいたま市で一番安心・安全な新和地区を創るための3ヶ年計画の1年目であり、今年度は身近な地域の様子をもっと知る機会をもち、安心安全に対する意識を高めることが主なねらいです。



いただいたご意見としては、

- ・通学路の危険箇所等については、重ねて行政にお願いをしている。子ども、保護者にとって改めて情報提供するといった現段階の案では、難しいのではないかと。
- ・地域の方々も徒歩で来校し徒歩で下校することになっているが、難しいのではないかと。
- ・地域の語り部は、どのように選んでいくのか。具体的に「何を話して欲しい」といった学校の案を示していただかないと難しいのではないかと。というものでした。

今日の段階では、1月13日(土)に学校・家庭・地域合同一斉下校を行うことを確認したうえでいただいたご意見を精査して再計画します。詳細につきましては改めて学校から提示させていただきます。その際にご協力のほどよろしくお願いいたします。

三つ目は、『(仮称)さいたま市放課後子ども居場所事業』の実施に伴う諸課題についてです。新和小は、市が令和6年度にモデル事業として実施する4校の中の1校です。この「(仮称)さいたま市放課後子ども居場所事業」については、9月1日付けの子ども未来局からの手紙で保護者・地域の皆様に概要をお伝えしたところです。

今回の熟議題「(仮称)さいたま市放課後子ども居場所事業実施に伴い、学校・地域はどのようなかわりをしていくことが望ましいのか」で行いました。

- ・事業概要についての説明
- ・学校として課題として認識していること

(実施までに解決しておかなければならないことの整理)

- ・実施までの行程表等を示し、委員の皆さんから質問等を受けた後、学校・地域はどのようなかかわりをしていくことが望ましいのか。できることはなにか。について熟議を行いました。

ご意見としては、

- ・この事業についての、説明会などは行われるのか。
- ・運営主体が決まってから、(12月ごろ)詳しく説明がないと、地域としても何をどう協力してよいかわからないことが多い。
- ・仮にボランティアを要請されるような場合があっても、職員の方とのすみわけがどのようになるかが不明確なままでは募集等も含めて難しいのではないか。
- ・事業自体は良いのだが、決まっていない(知らされていない)ことが多すぎるので学校としても、運営協議会としても市当局に早めに内容や具体策を示していただけるよう働きかけしていきたい。
- ・実施までの学校側のスケジュールと懸案な箇所は理解できる。なるべく早めに具体的なスケジュールを掲示していただくことが必要なのではないか。
- ・先生方が、放課後の子どもの動向の把握を確実に行う必要がある。それは、もれなく確実に行って欲しい。できるだけ先生方の負担が増えないようにして欲しい。
- ・今後、運営事業者と学校側の連絡調整を密に行って欲しい。
- ・さいたま市でモデル校になった4校の連絡体制は構築されているのか。
- ・事業主に学校(運営協議会)としてどのような要望を出していったらよいのかを整理して事業主や市当局と詳細を詰めて、事業がスムーズにスタートできるとよい。

などがあり、今後事業者等が決定し次第、学校と緊密な連絡調整を図ること。必要に

応じて、地域に協力要請を行うこと。等実施に向けて、さらに情報の提示と緊密な連携を図っていくことが確認されました。



会議の後はそれぞれの教室で子どもたちと一緒に給食を食べていただきました。今までの黙食から、グループでの給食になり、子どもたちの中に入って楽しく給食を食べていただきました。

紙面の都合で今号は【歴史の散歩みち】は割愛させていただきます。